

# 志田雄一郎

## 区議会レポート

2023 春

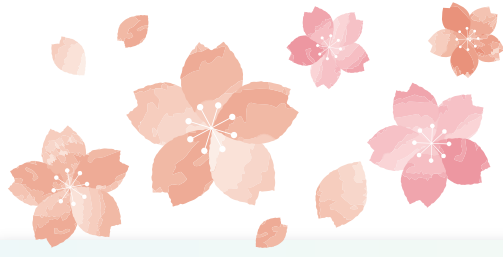


編集・発行:立憲民主党・無所属クラブ  
住所:新宿区歌舞伎町1-4-1 電話:03-5273-3555

立憲民主党・無所属クラブは志田雄一郎、久保広介、小野裕次郎、田中ゆきえの4名で結成された会派です。

(しだ・ゆういちろう) 1967(昭和42)年新宿区生まれ。三栄町保育園、四谷四小、四谷一中、東京学園高校卒。予算特別委員長、決算特別委員長などを歴任。現在、総務区民委員会委員、文化観光産業特別委員会委員などをつとめる。

【主な内容】4年間のまとめ / 令和5年度予算案 / AIオンデマンド交通 / 客引き行為取締



防災減災 高齢者障害者 次世代支援 まちづくり  
これまでも、これからも。

# ひたむきに、新宿。

4年前の4月に負託いただいてから1年も経たずに新型コロナウイルス感染症による行動制限で活動がままならない時期もありましたが、今期の4年間も様々な課題に取り組むことができました。社会経済活動が滞る中でも人は生きなければなりません。ましてや行政機能が止まるとは人命にも影響を及ぼしてしまいます。こういう時こそ政治がスピード感をもって対処する、そして区民の生命と財産を守るとの強い思いで区政に携わってまいりました。陽性者への適切な診療、医療崩壊を防ぎエッセンシャルワーカーへの手厚い支援など医療分野にとどまらず、法人や個人への給付金や飲食店などへの家賃支援や観光業への旅行支援など様々な分野へのてこ入れが行われました。そのため今期はこれまで以上の緊張感を持ってのぞんだ区議会でもありました。ところがコロナが落ち着きそうと思ったらロシアによるウクライナ侵攻で世界情勢が激変。原油高に物価高騰と生活を直撃する事態に見舞われています。大企業は軒並み賃上げの動きを見せていますが、それは中小企業にまで広がるかは未知数です。また物価高騰で最も打撃を受けるのは年金で生活されている方や母子家庭など弱い立場の人達です。政府は物価高騰への対応策として低所得者の方々への現金給付を検討しているとされていますが、区政でもさらに手厚い支援ができないか働きかけたいと思います。

また、かねてより主張し続けている首都直下地震への万全の備えだけでなく、火災などの身近にある災害にも強い新宿をつくりたいと考えています。災害は忘れなくても次々と襲ってきます。とくに近年頻発するゲリラ豪雨への対策は喫緊の課題であり、神田川の氾濫対策や新宿駅地下街への雨水の流入防止策など、想定時間雨量を見直して再検討すべきものを洗い出してまいります。

そして何よりも次世代支援に注力いたします。妊娠、出産、子育てと、次々とこなさねばならないことが増えるお母さん方を支える仕組みを拡充できるよう関係各方面に働きかけてまいります。年初に岸田首相が異次元の少子化対策を打ち出しましたが、それ以上の切れ目のない支援の実現をめざします。

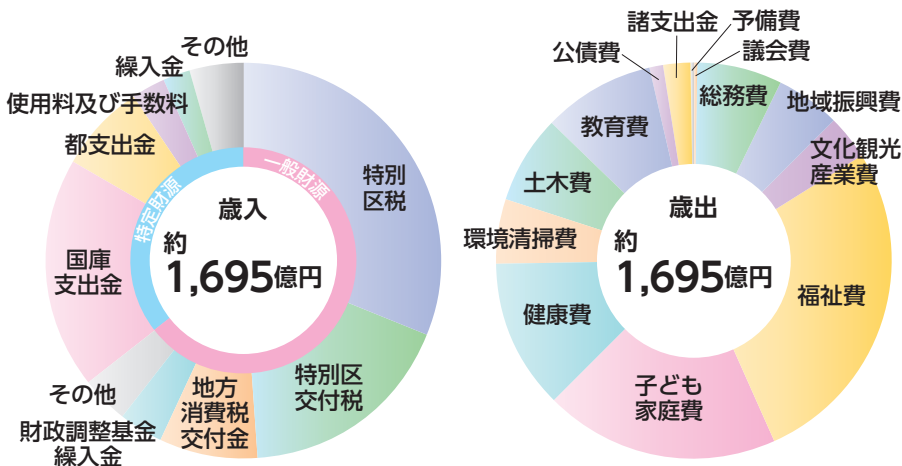
これらはほんの一部ではありますが、区政には待ったなしの課題が山積しております。引き続きこれらの課題に挑戦し、皆さんが安全で安心して暮らせる新宿区づくりに邁進していきたいと思えます。今期4年間にいただきましたご意見ご要望、そして叱咤激励いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

新宿区議会議員 志田 雄一郎

### 令和5年度予算

## 防災・防犯・子育て支援へ手厚い予算を要望

令和5年度予算は、編成の基本方針を「第二次実行計画の総仕上げとともに、区民生活の現場・現実を踏まえ、直面する区政課題に向け着実に前進する予算」と位置付けています。その中でも防災・防犯・子育て支援への予算を手厚くするよう要望しました。



### 今定例会で区から提案のあった注目事業を紹介します

## 次世代支援 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実

### 1.不妊治療支援が始まります。

妊娠を望み、不妊に悩む区民が身近なところで気軽に相談ができ、必要な場合には早期に治療できるよう、相談支援を行うことになりました。



### 2.産後ケア事業が充実します。

宿泊型に加え、通所型、訪問型の産後ケアが始まります。

#### 宿泊型

支援施設に宿泊してサービスを受ける  
■病院・助産院に委託して実施

#### 通所型

支援施設に通ってサービスを受ける  
■病院・助産院に委託して実施

#### 訪問型

家庭訪問によりサービスを受ける  
■助産師に委託して実施



# 誰もが移動しやすい新宿へ一歩前進

## AIオンデマンド交通の実証実験へ 交通弱者の意見を取り入れるよう要望しました

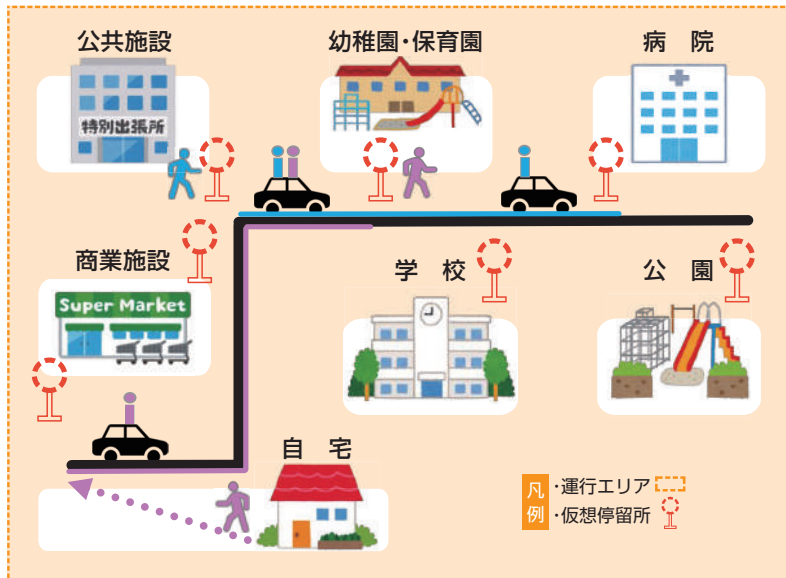
かねてから続けていた交通弱者の移動手段の確保に関する要望で、採算上の問題からなかなか前へ進むことができませんでした。しかし昨今のIT技術の向上により、AIとアプリを活用して効率的な運行が可能な交通システムが開発されています。これにより定期運行でなくても、必要な時に、必要な人が移動できる仕組みが出来上がります。その実証実験が間もなく始まります。区は地形、既存交通の運行状況、人口分布、施設の配置を考慮しながら実証実験地域を検討するとしています。実証エリアは高齢化率や地形の起伏の激しさも加味し、交通弱者の意見を取り入れながら実施すべきと要望しました。

### ■AIオンデマンド交通とは

- AIを活用した効率的な運行ルートを選定と利用者のニーズに応じた柔軟な運行
- 運行エリアを設定
- アプリまたは電話による配車予約
- 同じ方向に向かう利用者を相乗りとすることで低コストを実現
- 乗降場所として仮想停留所※を設定

### ■効果

- 身近な施設への近距離移動の利便性が向上
- 高齢者や障害者、子育て世帯等のための新たな移動手段として利用を想定



※仮想停留所とは、現地に停留所はなく、アプリの地図上に設定されるもので、公共施設、商業施設、病院、保育園及び学校などの近くに設定します。

### ■運行エリア等について

- 運行エリアは約4～9km<sup>2</sup>の範囲を想定
- 仮想停留所は、運行エリア内で200～300mに1箇所の間隔で設定

## 区内の客引き行為

### 特定地域以外でも取り締まりを

区の客引き防止条例では、歌舞伎町1,2丁目、新宿2,3丁目、西新宿1丁目と特定地区に指定し、地元商店街や警察と連携して客引きやスカウト行為を防止するためのパトロールが実施されています。しかし区内には他にも高田馬場、四谷、神楽坂などの歓楽街があり、特定地域以外での悪質な客引き行為にも目を光らせなければなりません。



そこで現状と今後の見通しを質しました。区は区民意見システムや電話により地元商店街や来街者からの情報提供をもとに、警察と情報共有を図っていること、情報が寄せられた場合には、区職員が現場へ赴き実態把握を行った上で、所轄の警察署に都迷惑防止条例に基づく対応を依頼している、とのことです。今後も特定地域以外の客引き行為には機動的に対処し、地元の皆さんが安心して暮らせて、来街者にとっても愛着の持てるまちづくりに取り組むとしています。

## 次の新宿へ。

政策目標  
ピックアップ

- 防災減災**
  - 新しい生活様式に合う避難所運営
  - 帰宅困難者の一時滞在施設の拡充
  - 建築物・ブロック塀・擁壁・がけの耐震性の強化
- 高齢者障害者**
  - 多様なグループホームの整備
  - トワイライト事業を行うための財政支援
  - 特別擁護老人ホーム等の整備
  - 介護人材の確保、定着のための施策を推進
- 次世代支援**
  - 子どもの貧困対策への実効支援
  - 児童相談所開設、人材の確保
  - 学童保育施設の拡充と、保育の質の向上
- まちづくり**
  - 移動の充実にに向けた交通手段の確保
  - 通学路の安全点検の強化

## 带状疱疹ワクチン予防接種 50歳以上対象 一部公費負担で実施へ

水痘・带状疱疹ウイルスの再活性化によって発症します。成人の90%以上がウイルスに既に感染しているため、ほとんどの人が発症のリスクを有しています。加齢は带状疱疹の重要なリスク因子とされ、50歳以上になると発症頻度が高まり、80歳までに3人に1人が経験すると推定されています。

**対象者** 新宿区に住民登録があり、接種日現在、50歳以上の方

### 自己負担額

生ワクチン 4,000円/回 接種1回  
不活化ワクチン 10,000円/回 接種2回

※生活保護を受給している世帯等の方は無料

**開始日** 令和5年4月1日から

現在では、コロナ禍によるストレスから免疫力が低下し、带状疱疹を発症する人が増えています。ぜひ進めるべき事業です。



ご意見・ご要望は...

新宿区議会議員

# 志田雄一郎

事務所

〒160-0007  
新宿区荒木町8 カインドステージ四谷三丁目401  
電話・FAX 03(3355)0546

